

# 平成30年度 多摩市の財政白書

～わかりやすい多摩市の財政状況(決算版)～

令和2年3月

～わかりやすい決算報告をめざして～

市ではさまざまな事業を行っています。どのような事業を行うのか、資金調達はどうか、どのように支出するかを「歳入」「歳出」という形でお金で表し、とりまとめた計画が『予算書』です。

その予算に沿って事業を行った一年間の結果を報告したものが『決算書』です。

『決算書』には予算の科目や決算額が並んでいます。それだけで決算の状況を理解するのは難しいので、それを補うために様々な資料を作成してきました。

この『多摩市の財政白書』は、そのような決算関連の資料を1冊にまとめ、更に、基本となる累積データを追加したものです。

このほかの決算関係の資料としては、個別の事業の解説に重点を置いた『決算事業報告書』があります。併せてご覧いただくと幸いです。

～目次～

<b>第1部 『平成30年度 多摩市の決算』</b>	7
<b>第2部 平成30年度決算の概要</b>	11
I 主要施策の成果説明書	13
1 平成30年度決算の状況	
2 各会計歳入歳出決算総括表	14
3 一般会計の決算状況	15
(1) 款別決算額(歳入)	
(2) 歳入決算のうち市税徴収実績	16
(3) 款別決算額(歳出)	17
(4) 歳出決算額(性質別内訳)	18
4 主要事業の概要と成果	19
5 国民健康保険特別会計の決算状況(款別歳入・歳出)	26
6 介護保険特別会計の決算状況(款別歳入・歳出)	28
7 後期高齢者医療特別会計の決算状況(款別歳入・歳出)	30
8 地方債現在高の状況(一般会計・特別会計)	31
9 債務負担行為の状況(一般会計・特別会計)	32
10 基金現在高の状況(一般会計・特別会計)	33
II 基金の運用状況調書	34
国民健康保険出産費資金貸付基金 運用状況調書	
国民健康保険高額療養費貸付基金 運用状況調書	35
介護保険高額介護サービス費等貸付基金 運用状況調書	36
<b>第3部 決算状況の推移と他市との比較</b>	37
1 はじめに	38
2 歳入の状況	39
(1) 多摩市の歳入構成	
(2) 主な項目の増減要因	
(3) 多摩市の歳入の構成と他市との比較	41
(4) 引上げ分の地方消費税交付金収入額と充てられる社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費	42
(5) 収入未済額の状況	43
〔コラム〕ふるさとTAMA応援寄附金について	44
3 市税の推移	46
(1) 市税の内訳はどうなっているのか	
(2) 都市計画税の収入額と充当事業	47
(3) 東日本大震災を踏まえた緊急防災・減災事業について(復興増税の使途)	48

<b>4 歳出の状況 ～収入(歳入)の使い道はどうなっているのか～</b>	49
(1) 目的別経費の推移 ～どのような目的に使われたのか～	
①目的別経費の推移	
②主な目的別経費の推移	50
(2) 性質別経費の推移と他市との比較 ～どのような内容に使われたのか～	51
①性質別経費の推移	
②平成30年度 26市における性質別経費の割合 その1	52
③平成30年度 26市における性質別経費の割合 その2	
④義務的経費の推移	53
⑤義務的経費の内訳の推移	
(3) 性質別経費の分析: 人件費	54
①人件費と決算総額に占める割合の推移	
②多摩市の職員数の推移	55
③平成30年度 26市におけるラスパイレス指数	
④平成30年度 26市における市民1人当たりの人件費と決算総額に占める割合	56
⑤平成30年度 26市における職員平均年齢と市民千人当たり職員数	
(4) 性質別経費の分析: 扶助費	57
①扶助費と決算総額に占める割合の推移	
②扶助費の内訳の推移	58
③平成30年度 26市における市民1人当たりの扶助費と決算総額に占める割合	59
④市税と扶助費の変動状況: 平成11年度を100とした場合の指数の推移	
(5) 性質別経費の分析: 公債費	60
①公債費と決算総額に占める割合の推移	
②平成30年度 26市における市民1人当たりの公債費と決算総額に占める割合	
(6) 性質別経費の分析: 物件費	61
①物件費と決算総額に占める割合の推移	
②平成30年度 26市における市民1人当たりの物件費と決算総額に占める割合	
(7) 性質別経費の分析: 補助費等	62
①補助費等と決算総額に占める割合の推移	
②補助費等の内訳	63
③平成30年度 26市における市民1人当たりの補助費等と決算総額に占める割合	
(8) 性質別経費の分析: 繰出金	64
①繰出金と決算総額に占める割合の推移	
②平成30年度 26市における市民1人当たりの繰出金と決算総額に占める割合	65
<b>5 基金・積立金の状況 ～多摩市の「貯金」の状況は?～</b>	66
(1) 多摩市における基金・積立金の推移	
①基金の積立と取崩状況の推移	
②基金の内訳と推移	67
[コラム]決算剰余金と財政調整基金	
(2) 26市における基金・積立金の状況	68
①平成30年度 26市における市民1人当たりの基金残高	
②平成30年度 26市における市民1人当たりの積立基金増減額と決算総額に占める割合	
<b>6 地方債・公債費の状況 ～多摩市の「借金」の状況は?～</b>	69
(1) 地方債の推移	
①地方債の残高と市民1人当たり残高	
[コラム]世代間の公平負担	
②地方債発行額と市民1人当たり発行額	70

(2) 債務負担行為の推移	71
①債務負担行為翌年度以降支出予定額と市民1人当たり額の推移	
(3) 市民1人当たり「貯金」と「借金・分割払い」	72
①市民1人当たり基金及び地方債・債務負担	
②平成30年度 26市における市民1人当たりの借金・分割払い	

## **7 財政指標からみる多摩市の状況**

(1) 財政力指数の推移	
①財政力指数の推移	
②平成30年度 26市の財政力指数	74
(2) 公債費に関する指標の推移	75
①公債費負担比率の推移	
②平成30年度 26市の公債費負担比率	
(3) 経常収支比率の推移	76
①経常収支比率の推移	
②平成30年度 26市の経常収支比率	77
③平成30年度 26市の経常収支比率・財政力指数の関係	
(4) 平成30年度決算に基づく健全化判断比率等の状況	78
①健全化判断比率	
②資金不足比率	
③健全化判断比率等の概要について	79
[コラム]実質収支額(剰余額)等を使って財政指標を算定してみると…	81
(参考)平成30年度決算に基づく健全化判断比率等の算定結果の詳細について	82

## **第4部 財務書類 ～統一的な基準による～**

### **はじめに**

財務書類の種類と相互関係	90
財務書類の対象とする会計の範囲と作成基準日	91
貸借対照表(一般会計等)	92
行政コスト計算書(一般会計等)	94
純資産変動計算書(一般会計等)	95
資金収支計算書(一般会計等)	96
財務書類の分析	98

### **財務書類本表**

一般会計等 貸借対照表	102
一般会計等 行政コスト計算書	103
一般会計等 純資産変動計算書	104
一般会計等 資金収支計算書	105
全体会計 貸借対照表	106
全体会計 行政コスト計算書	107
全体会計 純資産変動計算書	108
全体会計 資金収支計算書	109
全体会計 附属明細書	110
1 貸借対照表の内容に関する明細 (1)資産項目の明細 ①有形固定資産の明細	
②有形固定資産の行政目的別明細	111
連結会計 連結貸借対照表	112
連結会計 連結行政コスト計算書	113
連結会計 連結純資産変動計算書	114
連結会計 連結資金収支計算書	

<b>第5部 その他のデータ</b>	115
<b>第5部の目次と解説</b>	117
<b>1 当初予算額及び決算総額の推移(全会計)</b>	120
(1) 当初予算額	
(2) 歳入決算額	
(3) 歳出決算額	
<b>2 平成30年度財政状況(「地方財政状況調査」より 通称「決算カード」)</b>	122
<b>3 普通会計の決算数値の推移(「地方財政状況調査」より:第3部バックデータ)</b>	124
(1) 基礎・指数等	
(2) 歳入の内訳	
(3) 歳出の内訳	
<b>4 地方交付税決算額と算定結果の推移</b>	132
(1) 地方交付税の推移	
(2) 算定結果内訳	133
<b>5 歳入構造の分析</b>	138
(1) 歳入構造の指標	
(2) 指標②(自主財源と依存財源)内訳	140
<b>6 多摩市の「貯金」と「借金・分割払い」の状況</b>	143
<b>7 東京都多摩ニュータウン住宅建設対策補助金の影響額</b>	147
<b>8 実質的な収支</b>	150
<b>9 平成30年度決算の認定に係る提案理由口述書</b>	151

## 第1部 『平成30年度 多摩市の決算』

たま広報10月20日号に掲載した決算特集です。

# 平成30年度の決算

## 多摩市の財政状況 ～平成30年度決算の概要～

### 一般会計歳入額(市の収入額)

**549億2,336万円**

### 一般会計歳出額(市の支出額)

**535億7,817万円**

歳入の50%以上を占める市税は、法人市民税の増収などで前年度から6.1億円の増収となりました。一方、基金(貯金)の取り崩しや地方債(借金)の減少などで歳入総額は前年度から18.9億円の減収となりました。

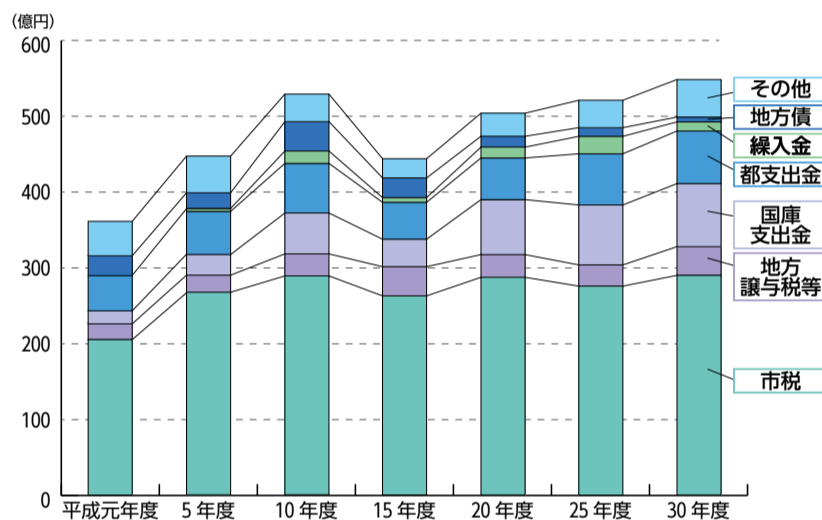
歳出では、大栗川・かるがも館の建設が平成29年度で終了したことなどで普通建設事業費が前年度から10.9億円減少するなど、歳出総額は前年度から16.7億円の減少となりました。なお、社会保障経費の一つである扶助費は前年度から1.9億円減少しましたが、臨時福祉給付金給付事業が平成29年度で終了した影響で2.8億円増加したため、実質的には引き続き増加しています。

### 平成から令和へ ～平成30年間の決算額推移～

多摩市にとって平成の30年間はどんな時代だったのか、財政的な視点から見てみよう！

#### 歳入決算額の推移

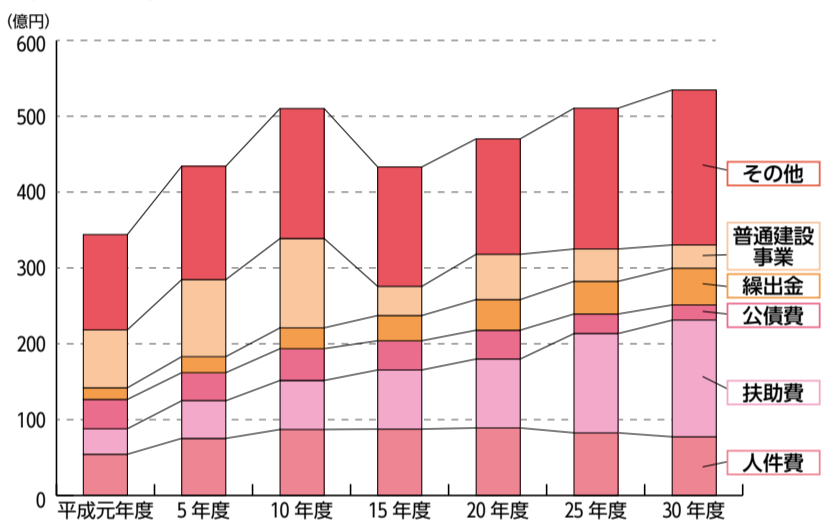
市税は近年ほぼ横ばいの300億円程度で推移していますが、国・都支出金が増加しています。これは歳出の扶助費の増加に連動したものです。また、歳出の普通建設事業費の減少により、地方債(借金)が減少しています。



#### 歳出決算額の推移

公債費(地方債の返済)と人件費は、近年減少傾向となっていますが、扶助費は、平成元年度の約36億円に対して平成30年度は約150億円(約4.2倍)となりました。

平成の前半は、公共施設の整備などにより、決算総額に占める普通建設事業費の割合が多くなっていました。



### 特別会計別決算額

特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計から独立して収支経理を行う会計です。

国民健康保険特別会計は、制度改正により大きく減少しました。介護保険・後期高齢者医療の各特別会計は高齢化に伴い引き続き増加となりました。

区分	歳入	前年度比	歳出	前年度比	歳入歳出差引額
国民健康保険	161億2,485万円	-12.1%	157億7,394万円	-11.7%	3億5,091万円
介護保険	102億9,579万円	9.5%	97億3,583万円	6.8%	5億5,996万円
後期高齢者医療	36億1,454万円	6.4%	35億8,639万円	6.5%	2,815万円
特別会計合計	300億3,518万円	-3.6%	290億9,616万円	-4.1%	9億3,902万円

※千円単位で四捨五入し、端数調整しています

雨水排水に係る工事費の増加およびそれに伴う一般会計からの繰入金の増加により資本的収支が増加しています。

区分	決算額	前年度比
下水道事業会計	収益的収支	
	収入	36億926万円 1.2%
	支出	30億2,046万円 -0.3%
	資本的収支	
収入	1億6,439万円 1,441.4%	
支出	4億1,088万円 20.3%	

※千円単位で四捨五入しています

### 市の財政をもっと知りたい方へ

平成30年度決算の詳しい解説は、「平成30年度多摩市の財政状況(決算の概要)」に掲載しています。

▷閲覧可能場所 市役所第二庁舎1階行政資料室、市内各図書館、多摩ボランティア・市民活動支援センター(ヴィータ)

※公式ホームページでも閲覧可



▲平成30年度多摩市の財政状況はこちら

#### ▼歳入

	平成30年度
市税	292億3,753万円
地方譲与税等	36億5,836万円
国庫支出金	83億4,520万円
都支出金	70億5,153万円
繰入金	11億5,450万円
市債	5億7,110万円
その他	49億514万円
合計	549億2,336万円

#### ▼歳出

	平成30年度	主な用途
人件費	82億1,327万円	職員の給料など
扶助費	150億2,820万円	児童や高齢者・障がい者などの支援
公債費	20億2,231万円	借金の返済
繰入金	48億486万円	特別会計予算への繰り出し
普通建設事業	30億7,166万円	道路、学校などの公共施設の改良や新設
その他	204億3,787万円	-
合計	535億7,817万円	-

### 多摩市の財政は健全です ～健全化判断比率などの状況～

国が定める4つの指標と資金不足比率のすべてにおいて、引き続き健全性を示す結果となりました。

▼健全化判断比率…毎年の収支フローや借入金などの将来負担を4つの指標を用いて数値化したもの

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
多摩市算定数値	—	—	0.6%	—
早期健全化基準	11.81%	16.81%	25.0%	350.0%
財政再生基準	20.00%	30.00%	35.0%	—

※実質赤字額・連結実質赤字額が無く、また将来負担比率が算定されないため、算定数値に「—」を記載

▼資金不足比率…公営企業(多摩市では下水道事業会計)の資金不足を公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較し、経営状態の悪化を数値化したもの

区分	特別会計の名称	資金不足比率	事業の規模
多摩市算定数値	下水道事業会計	—	2,337,279千円
経営健全化基準		20.0%	—

※資金の不足額が無い場合、算定数値に「—」を記載



# をお知らせします

▶問い合わせ 財政課 ☎(338)6814

## 主な実施事業 ～みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩の実現に向けて～

すべての人が健幸で持続可能な活力あるまち、「選んでもらえるまち」多摩市の実現に向けて、第五次多摩市総合計画第2期基本計画の3つの取り組みの方向性である「健幸都市・多摩の創造」「市民がデザインするまち・多摩の創造」「発信！ 未来へつなぐまち・多摩」の取り組みを推進しました。



◀主な実施事業の詳細はこちら

### ① 健幸都市(スマートウェルネスシティ)・多摩の創造



TAMAフレイル予防プロジェクトを市内28カ所で開催し、「近所de元気アップトレーニング(近トレ)」を27カ所立ち上げるなど、介護予防による地域づくりを推進

◀近所de元気アップトレーニング

ノルディックウォーキングの指導者の育成・初心者向け体験教室を実施。また、健幸啓発情報誌を生活の中で目にとまる場所(美容室・病院・薬局など)に設置

ノルディックウォーキング▶



### ③ 発信！ 未来へつなぐまち・多摩



▲楽しく！ 美しい！ ラジオ体操教室

オリンピック自転車競技ロードレースのコースに市内11.8kmが決定されたことを受け、東京2020大会へ向けた気運を醸成。また、連携協定を締結した国土

大学と、「トップアスリートによる講演会」「楽しく！ 美しい！ ラジオ体操教室」などを実施



▲「#多摩市広報部員」第2回イベント「冬のフォトウォークin多摩センター」にて

多摩市シティセールス戦略に基づき、市をPRするポスターやパンフレットなどの作成、戦略的な情報発信を実施。また、「#多摩市広報部員」を募集し、市の魅力的な風景などを発信



© Benesse Corporation 1988-2019/しまじろう  
©76, '19 SANRIO APPROVAL No.P1109114

▲ハローキティストリート&しまじろう広場誕生5周年記念イベント

「ハローキティにあえる街 多摩センター」の魅力を発信するため、ハローキティストリート&しまじろう広場誕生5周年を記念したイベントを開催

### ② 市民がデザインするまち・多摩の創造



多摩市若者会議を実施し、「住んでみたい、訪れてみたい」まちの実現のためのアイデアをまとめ、「若者のまちづくり拠点」を整備

◀若者のまちづくり拠点「未知カフェ」オープン

「日本一英語を話すことのできる児童・生徒の育成」を目指し、中学2・3年生のオンライン英会話、中学3年生の英語4技能の測定、小学校教員の英語指導研修を実施

オンライン英会話▶



### 施設の整備等

- 学童クラブの待機児童対策として、連光寺小学童クラブ・東落合小学童クラブを整備
- 図書館本館の再整備に向けて、基本計画の策定、基本・実施設計を実施(2カ年事業の1年目)
- 武道館や陸上競技場などの大規模改修に伴う基本・実施設計を実施
- パルテノン多摩などの改修に向けた基本計画を策定し、基本・実施設計を実施(2カ年事業の1年目)



## 多摩市行財政刷新計画(平成28年度～令和元年度)～平成30年度の達成状況～

平成28年3月に策定した多摩市行財政刷新計画は、平成28年度～令和元年度の4年間の行財政改革の取り組みを定めた計画です。市民や民間企業・NPO法人など、より多くの方々に公共サービスの担い手として力を発揮していただくことや、今までとは異なる新たな手法により、市民サービスの向上や効率的な事業運営を行う「しくみの転換」に重点を置いた具体的な取り組み項目を定めています。

その取り組み項目のうち、平成30年度に実施する計画がある71項目すべてに着手し、目標達成率(80%)を超える61項目(85.9%)について達成することができました。

また、持続可能な財政運営のための指標は、当初予算時の経常収支比率で目標値を上回ったものの、その他の項目はすべて達成することができました。

今後も、行財政改革を推進していきますので、市民の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

▶問い合わせ 行政管理課 ☎(338)6948

### ▼具体的な取り組み項目の達成状況

達成状況	項目数	達成率
達成	61	85.9%
未達成だが着手	10	14.1%
未着手	0	0%

### ▼持続可能な財政運営のための指標

指標	目標	平成30年度
経常収支比率	当初予算時	95%以下
	決算時	91%以下
財政調整基金残高 [年度間の財政調整を行うための基金(貯金)の残高]	30億円以上	40億円
地方債の借入額(借金)	計画期間内(4年間)で100億円以内	3年間の累計37.3億円



